

2025年度 新・防災教育チャレンジプランプラン 活動報告会

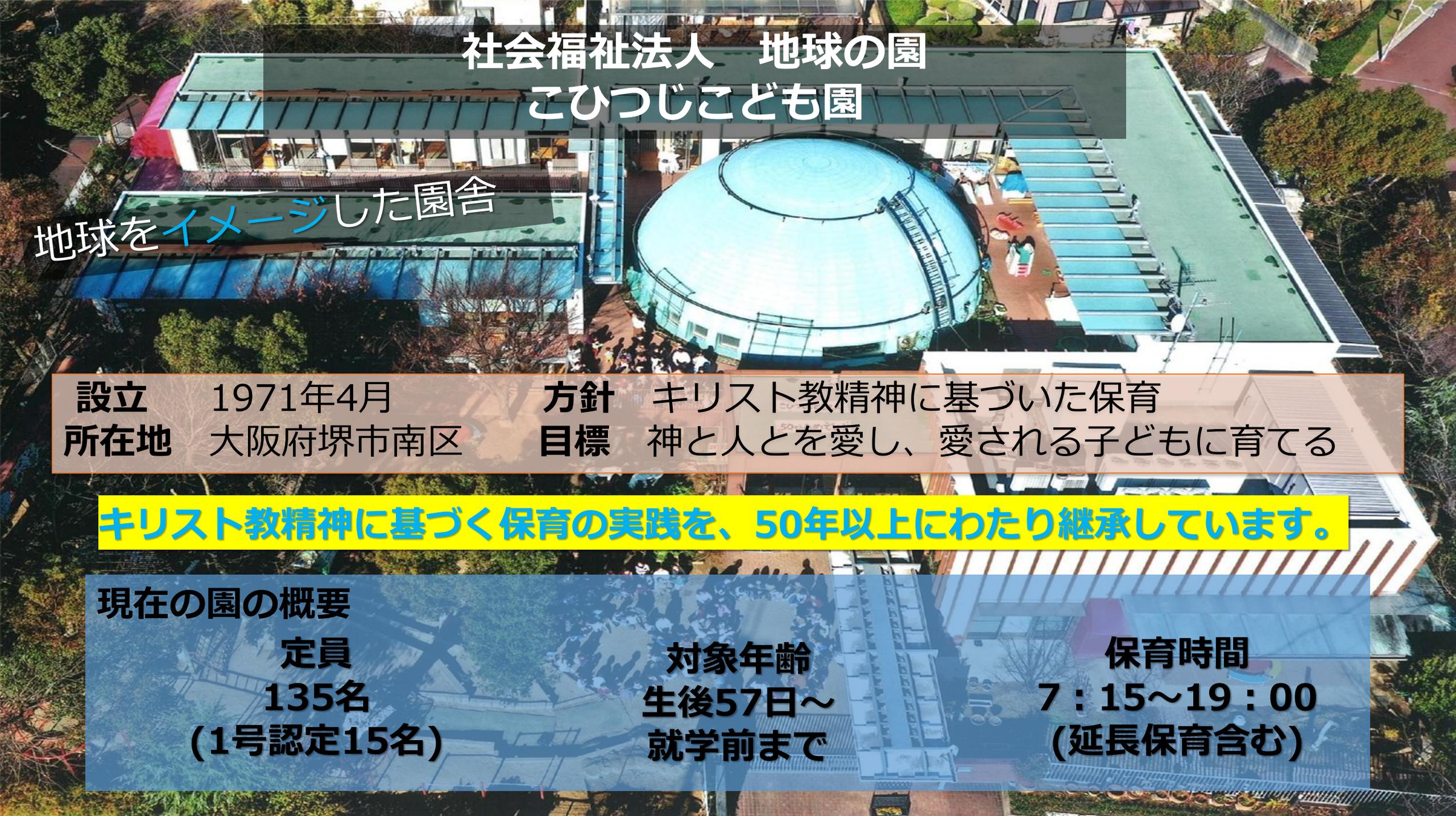
社会福祉法人地球の園 こひつじこども園

遊びを通じた保育ぼうさい

～乳幼児期からの生きる力を育むカリキュラム開発～

保育教諭 野中 奏





社会福祉法人 地球の園
こひつじこども園

地球をイメージした園舎

設立	1971年4月	方針	キリスト教精神に基づいた保育
所在地	大阪府堺市南区	目標	神と人とを愛し、愛される子どもに育てる

キリスト教精神に基づく保育の実践を、50年以上にわたり継承しています。

現在の園の概要

定員
135名
(1号認定15名)

対象年齢
生後57日～
就学前まで

保育時間
7:15～19:00
(延長保育含む)

本園が抱えている課題



家庭的で温かみのある保育室を大切にしているが、地震が来た時に不安。。。

幼児期のこどもたちが主体的に参加できる防災教育のモデルケースが少ない。。。

異年齢児保育の中でこどもたちに何を伝えたら良いかわからない。。。

避難訓練も形式的になってしまっているが、発展させることが難しい。

具体的なイメージができない。。。

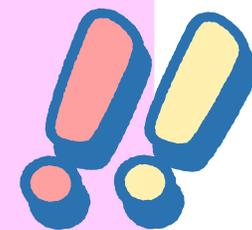
2025年1月に行った本園保育者への聞き取りで得られたデータの一例（実施：野中）

本園が抱えている課題



日ごろの**保育の中**にも防災に
つなげられることがたくさんあるのではないかと

こどもたちに、**遊びの中で防災に慣れ、**
親しみながら生きる力を身につけてほしい



チャレンジの目的

乳幼児期における遊びを通じた防災教育の体系化を目的とする。

遊びを通して命を守る行動を自然と習得していくこと

異年齢児間での学びあいを踏まえた避難訓練の実施と振り返り活動を行うこと

こどもたちの言葉や意識の変容を観察記録やエピソード分析を保護者にも共有し、家庭・地域の防災力の向上を目指すこと

チャレンジの内容



まもるSUNの作成

オリジナルキャラクターと避難の標語を作成

01



防災遊びの実践

防災を日ごろの遊びの一部に位置付けた

02



防災デーの実施

こどもぼうさいデーを多様な機関と連携し、開催した

03



かまどベンチの作成

災害時に使用できるかまどベンチを作成し、炊き出し訓練も実施

04



防災サーキットの実施

忍者からのミッションとして、防災サーキットを行った

05

年間スケジュール

Start



2025.4

保育者・保護者への
説明実施



2025.5

4歳児クラスで
防災センターの訪問



2025.6

肯定的な避難の
標語作成



2025.7

まもるSUNの
作成



2025.10

運動会で防災サーキット



2025.9

こどもぼうさいデーの実施



2025.8

かまどベンチの作成



2025.11

子ども食堂での防災講座



2025.12

懐中電灯の影絵シアター



2026.1

カリキュラムの体系化



01 まもるSUNの作成

オリジナルキャラクターと
肯定的な避難の標語の作成

「まもるSUNと「じぶんをまもる」



従来の否定型の避難の約束の課題

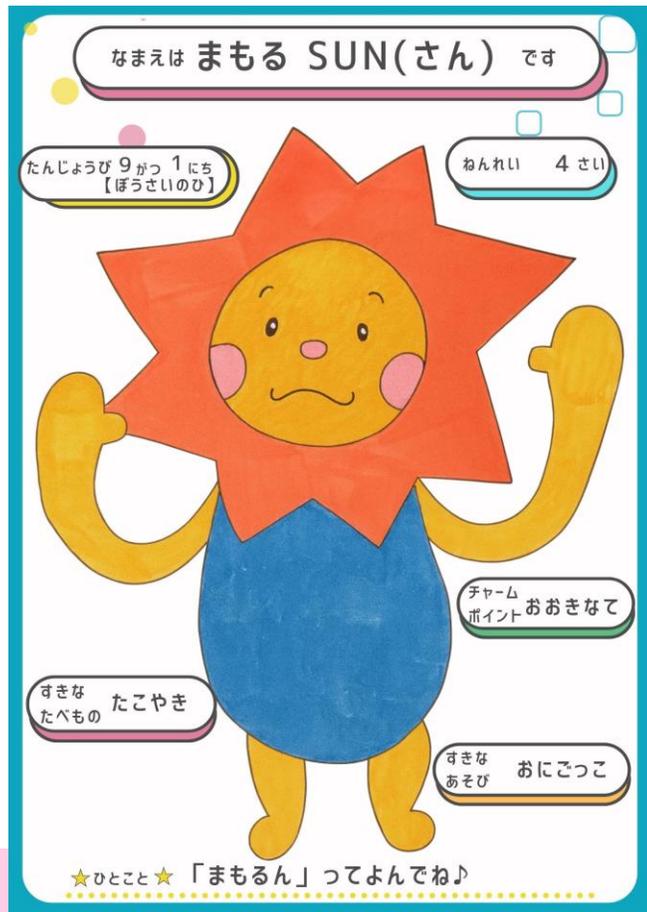
従来の避難の約束「おはしも」や「おかしもち」で使われている言葉はすべて否定形でした。

5月初旬、自由遊びの時間に2歳児の子が壁に貼られたポスターを見ながら、「戻らない、静かにしない、走らない」と言い間違えた場面がありました。

乳幼児の子どもたちに物事を伝える際には、否定形ではなく、肯定的な言葉で伝えることが大切だということ。保育の基本であるにも関わらず、防災にその視点が抜けていたことに気付かされた場面でした。



そこで、肯定的な言葉に変換した新しい避難の約束「じ・ぶ・ん・を・ま・も・る」と、子どもたちに防災を親しんでもらえるようなオリジナルキャラクター「まもるSUN」を作成しました。



まもるSUN 制作背景



保育では、子どもたちへの肯定的な言葉かけを大切にしています。

×「走らないでね」 ⇒ ○「歩こうね」

×「押さないでね」 ⇒ ○「順番にね」

でも、従来の避難訓練の約束「お・か・し・も・ち」は否定形ばかり...
そこで、肯定的な表現に変換した「じ・ぶ・ん・を・ま・も・る」が誕生しました！

まもるSUN (さん) について

「じぶんをまもる」の約束の言葉そのものが太陽
前向きで明るい言葉たちが集まって、太陽のような存在になりました。
優しく守れる大きな手でみんなを包み込むように守ってくれます。
また、男女のどちらでもない存在として、すべての子どもたちに寄り添います。
子どもたちの安全を守るために、前向きな言葉で、楽しく学ぼう！

まもるんとまなぼう じぶんをまもる ひなんのおやくそく

ひなんのときは
「じ・ぶ・ん・を・
ま・も・る」
やで!



- じ じゅんばん まもろう 🧑🧒🧓
- ぶ ぶつからないように あるこう 🧑🧒🧓
- ん 一つとくちを とじよう 🧑🧒🧓
- を おちつこう 😊
- ま まわりをよくみよう 🧑🧒🧓
- も もどらず すすもう 🧑🧒🧓
- る ーるをまもって あんせんに! 👍

★みんなのたいせつないのちを まもろうね★



information

なまえは まもる SUN(さん) です

たんじょうび 9がつ 1にち (ぼうだいのひ)

なんれい 4さい

チャーミングポイントをおおきなて

好きな たこやき

好きな あそび おにこっこ

★のここと★「まもるん」ってよんでね!

まもるSUN 制作背景

製作は、子どもたちの実際の言葉や行動から大抵はしています。
 ✕ ぼろぼろでいい → ○ かわいく
 ✕ 伊達紙でいい → ○ 簡単でいい
 ✕ 難しい言葉や漢字 → ○ 簡単な言葉や漢字
 さらに、実際の言葉や行動から「じ・ぶ・ん・を・ま・も・る」が誕生しました!

まもるSUN(さん)について
 ひなんを守る、仲間の安全を守るための活動
 仲間や周りの安全を守って、自分自身を守ります。
 誰かがやらかすやらかさないを気にせず、自分自身を守ります。
 また、周りの安全を守らないと、自分自身も守れません。
 子どもたちが安心して生活できる環境を作ります!

まもるんとまなぼう
じぶんをまもる
ひなんのおやくそく

ひなんのときは
「じ・ぶ・ん・を・
ま・も・る」
やで!

- じ じゅんばん まもろう 🧑🧒🧓
- ぶ ぶつからないように あるこう 🧑🧒🧓
- ん 一つとくちを とじよう 🧑🧒🧓
- を おちつこう 😊
- ま まわりをよくみよう 🧑🧒🧓
- も もどらず すすもう 🧑🧒🧓
- る ーるをまもって あんせんに! 👍

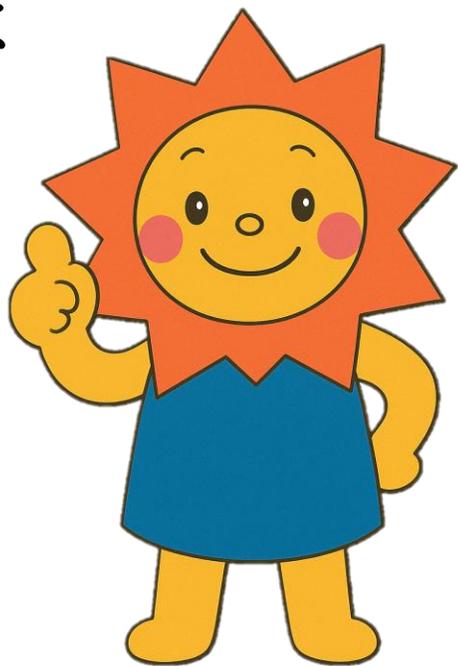
★みんなのたいせつないのちを まもろうね★



みんなが防災
配布中

02 防災遊びの実践

月に2～3回、「訓練」としてではなく、日常の「遊び」として、取り組めるようにカリキュラムへ組み込んだ。



実施日: 年 月 日 (曜日)

記録者:



活動名:

対象: 歳児クラス(名)



活動の概要

ねらい(該当するものに✓)

- 自然災害への理解を深める
 災害時に身を守る行動を知る
 友達と協力する
 安全への意識を高める
 災害時に必要な身体を作る
 自分で考えて行動する

活動内容(簡潔に)



子どもたちの様子

印象的だった言動・反応(キーワードや短文で構いません)

活動時の子どもの姿について、あてはまるものに✓をつけてください。

No.	質問事項	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	ややあてはまらない	あてはまらない
1.	自ら質問・発言していた。	<input type="checkbox"/>				
2.	活動に積極的に参加していた。	<input type="checkbox"/>				
3.	友達と協力する様子があった。	<input type="checkbox"/>				
4.	自分なりの工夫が見られた。	<input type="checkbox"/>				
5.	防災に関する気づきを表現していた。	<input type="checkbox"/>				
6.	活動後も遊びを継続していた。	<input type="checkbox"/>				
7.	その他()					



防災に関する学びの様子について、あてはまるものに✓をつけてください。

No.	質問事項	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	ややあてはまらない	あてはまらない
1.	災害の種類や原因について関心があった。	<input type="checkbox"/>				
2.	身を守る方法について理解していた。	<input type="checkbox"/>				
3.	おかしもち(おさない・かけない・しゃべらない・もどらない・ちかづかない)などの避難時のルールを覚えていた。	<input type="checkbox"/>				
4.	避難経路や安全な場所を認識していた。	<input type="checkbox"/>				
5.	危険を予測する発言があった。	<input type="checkbox"/>				
6.	他児への言葉掛けや協力があつた。	<input type="checkbox"/>				
7.	防災に関する言葉の使用が増加した。	<input type="checkbox"/>				
8.	子ども自らが考えて行動する場面が増加した。	<input type="checkbox"/>				
9.	安全への意識の高まりが見られた。	<input type="checkbox"/>				
10.	その他()					



保育者の気づき(自由記述)

次回に向けたアイデア(該当するものに✓)

- 同じ活動をさらに発展させる
 別の災害種類について取り上げる。
 実際の避難訓練と関連づける
 より子どもの主体性を引き出す工夫をする。
 保護者への発信・共有をする
 その他:



活動の記録

写真: あり なし 動画: あり なし



特記事項:



園内ぼうさい探検



運動遊び



ぼうさいかくれんぼ



危険探しゲーム



ぼうさいリトミック



新聞スリッパ作り



懐中電灯遊び



防災ラジオ体験



防災グッズゲーム



不審者訓練かくれんぼ



ランタンづくり



防災ニュースの視聴

懐中電灯遊びについて

01 懐中電灯を使った光遊び

災害時に使う道具に興味を持ち、
使い方を知る。

02 手回し式の導入

スイッチではなく、手で回す動作の
習得と仕組みへの関心

03 影絵遊びへ発展

光と影、身近な事象への気づき。

04 光遊びへ発展

光に色をつける。重ねると色が変わる。

05 影絵シアターとして発表

これまでの子どもたちの懐中電灯
遊びをこれまでの過程と共に発表

単発的な体験ではない
防災の在り方の模索

懐中電灯遊びの導入期



手回し式への移行



影絵遊びへ発展



さらに、光遊びへ！！

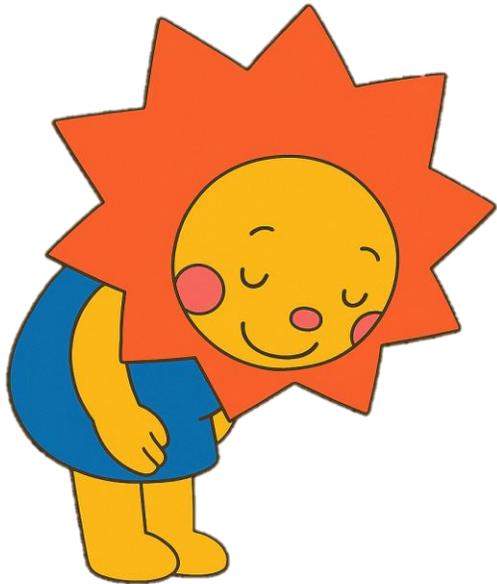


12月には、クリスマス会で影絵シアターの発表を行い、日ごろの子どもたちの取り組みを保護者の方にも発信しました。



03 防災デーの実施

園と地域・家庭の防災力の向上を目指して、他機関と連携してこどもぼうさいデーを実施した



ワクワクたいけん！
遊んで学んで、生きる力を育もう

こども

ぼうさいデー

2025.09/13 土 10:00 - 12:00 入場無料

場所 社会福祉法人地球の園 こひつじこども園
大阪府堺市南区竹城台2-2-1
! 駐車場はありませんので、近隣のコインパーキングをご利用ください
雨天決行 荒天中止

要事前申し込み

0歳から楽しく学べる防災体験ブースがいっぱい!

- ちびっこ消防士体験
- 自衛隊コーナー
- 避難所・トイレ体験コーナー
- 防災ゲームコーナー
- かまどベンチで炊き出し
- オリジナル缶バッジ作り
- ぼうさいダックとワークショップ
- おもちゃAEDでお医者さんごっこ
- 防災用品の展示
- 防災ぬりえ
- 防災食の試食
- 親子のための防災講座

みんなで備えよう

スタンプラリーへの参加やアンケートへのご回答でおかしや防災グッズをプレゼント

おたのしみに!

防災絵本の読み聞かせ

詳しくは裏面へ!

オリジナルキャラクターのお披露目もあるよ

お申込みはこちらから

社会福祉法人地球の園
こひつじこども園

主催：社会福祉法人地球の園 こひつじこども園

こどもぼうさいデー 実施概要

参加者総数

子ども：102人 大人：164人

共催

放課後等デイサービスこひつじ
大阪総合保育大学

協力団体

消防、自衛隊、DWAT、区役所、日本損害保険協会、アトリエ色～iro～、
ママコミュ！ドットコム 他



当日の様子



消防コーナー



自衛隊コーナー



トイレコーナー



避難所体験



当日の様子



防災ゲーム



防災アート



当日の様子



ぼうさいダック



防災絵本
読み聞かせ



ぼうさいNURIE



防災講座

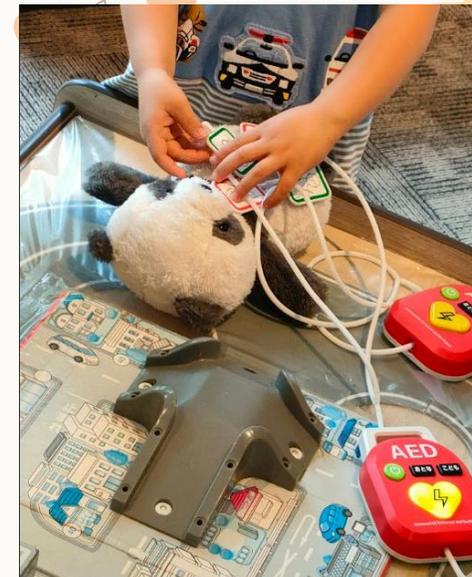
当日の様子



かまどベンチ



災害食の試食 防災用品の展示

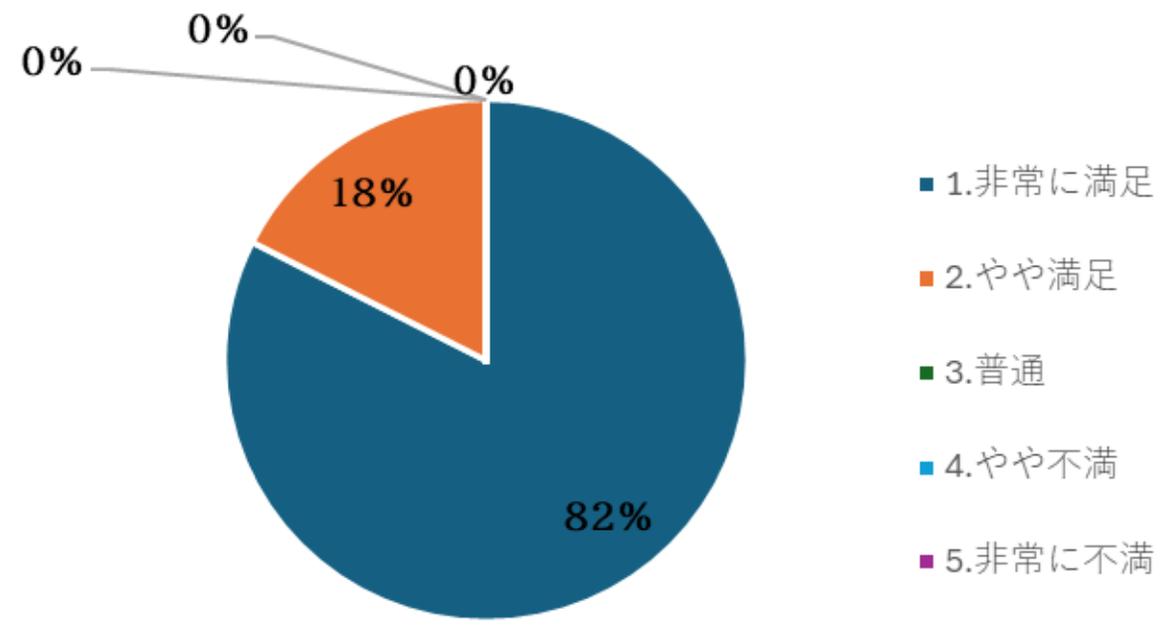


おもちゃAED



参加者アンケートの結果より

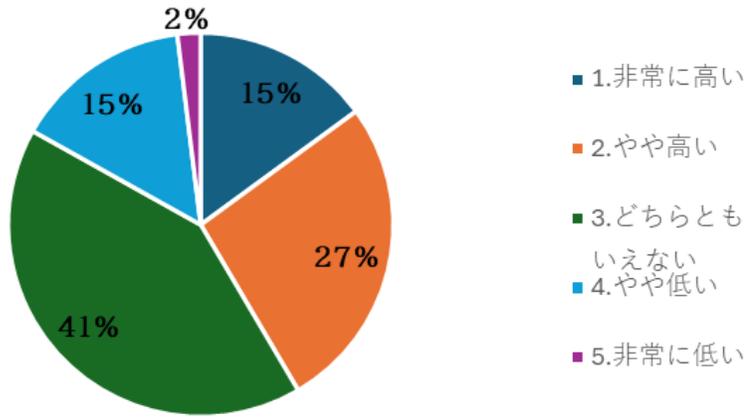
全体の満足度



	回答者数	%
1.非常に満足	127	82.5%
2.やや満足	27	17.5%
3.普通	0	0.0%
4.やや不満	0	0.0%
5.非常に不満	0	0.0%
合計	154	100.0%

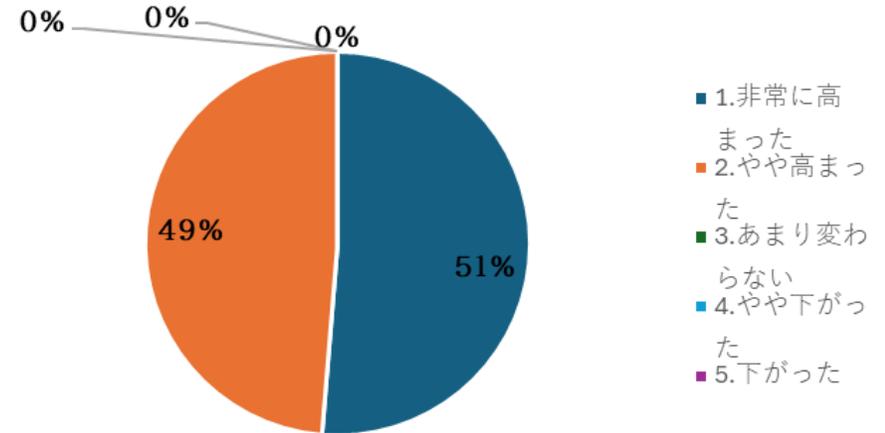
参加者アンケートの結果より

参加前 防災への関心の程度



	回答者数	%
1.非常に高い	23	14.9%
2.やや高い	41	26.6%
3.どちらともいえない	64	41.6%
4.やや低い	23	14.9%
5.非常に低い	3	1.9%
合計	154	100.0%

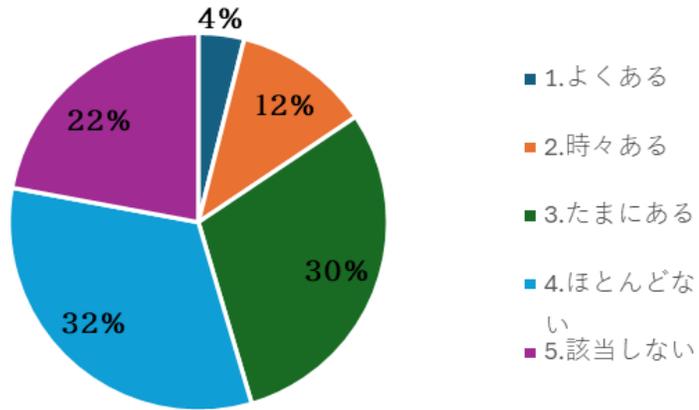
参加後 防災への関心の変化



	回答者数	%
1.非常に高まった	79	51.3%
2.やや高まった	75	48.7%
3.あまり変わらない	0	0.0%
4.やや下がった	0	0.0%
5.下がった	0	0.0%
合計	154	100.0%

参加者アンケートの結果より

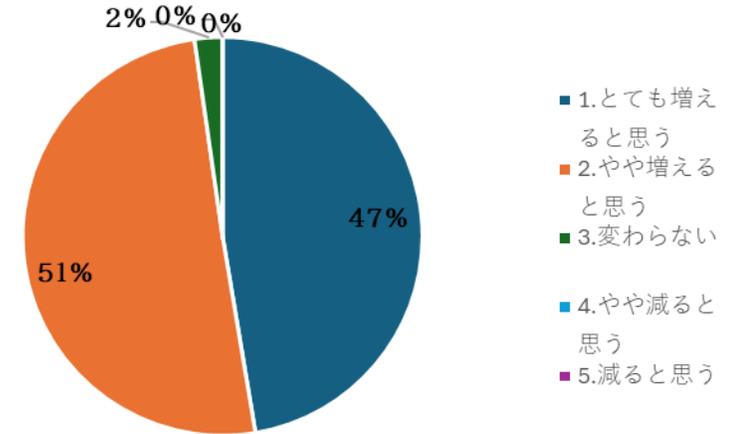
参加前 子どもと防災について話す機会



	回答者数	%
1.よくある	6	3.9%
2.時々ある	18	11.7%
3.たまにある	46	29.9%
4.ほとんどない	50	32.5%
5.該当しない	34	22.1%
合計	154	100.0%

参加後

子どもと防災について話す機会が増えるか



	回答者数	%
1.とても増えると思う	63	40.9%
2.やや増えると思う	67	43.5%
3.変わらない	3	1.9%
4.やや減ると思う	0	0.0%
5.減ると思う	0	0.0%
6.該当しない (大人のみの回答)	21	13.6%
合計	154	100.0%

04 かまどベンチの作成

災害時に使用できるかまどベンチを
5歳児が作成
炊き出し訓練も行った



かまどベンチってなに？からはじまり、気持ちを込めて作ってくれました。
保護者の方にも協力をいただきました。



平常時は憩いの場として



災害時は命を守る設備として



実際に炊き出し訓練も行いました

05 防災サーキットの実施

忍者からのミッションとして、命を守る力を身につける防災サーキットを行った



防災サーキット

～忍者からのミッション～

半年間かけた遊びの中の防災教育

これは、運動会当日までを一つのストーリーとして取り組んだ4歳児クラスの実践事例です。

「防災訓練」や「運動会の練習」ではなく「忍者ごっこ」として

- 毎回、忍者から巻物が届く
- ミッションをクリアしていく
- 運動会当日に忍者を発見!
- 遊びの中で自然に防災動作が身につく





忍者サーキットの内容 ~命を守る力を育む~

ミッション① 壁押しの術 (マットを押しつけて進む)

防災力→ 閉じ込められた時、ドアを押す、倒れたものを動かす

ミッション② バランスの術 (平均台から落ちないように慎重に進む)

防災力→ 避難時の不安定な足場を慎重に進む力

ミッション③ 飛び石の術 (バランスストーンを飛び石風に配置)

防災力→ 判断力とバランスをつかい、安全な場所を選んで進む

ミッション④ 回転の術 (マットの上でゴロゴロ転がる)

防災力→ 服に火がついた時に転がって火を消す対処法

ミッション⑤ 忍び歩きの術(トンネル(低い空間)を低い姿勢で進む)

防災力→ 煙の中を低い姿勢で避難する

ミッション⑥ 飛び降りるの術 (跳び箱の上に登り、飛び降りる)

防災力→ 緊急時、高所から飛び降りる恐怖心を乗り越える



恥ずかしがり屋の忍者は足跡やシルエットのみで姿を見せてくれず、運動会当日に子どもたちが探し求めていた忍者が登場！サーキットの後は一緒に「ぼうさいにんじゃ」を踊り、保護者の方へも子どもたちとの防災の取り組みを発信しました。



まとめ



9月中旬 自由遊びの一コマ

乳幼児期の子どもたちにとって、遊びは最も重要な学びの場です。

災害時はマニュアル通りの行動ではなく、予測できない状況の中で自分なりに考え、判断し、行動できる「柔軟な力」が必要です。遊びを通した学びは、まさにこの力を育てます。

決まった答えのない遊びの中で、子どもたちは状況を読み取り、自分なりの方法を見つけ出す経験を重ねます。この経験が「生きる力」につながります。

本実践は園だけでなく、家庭や地域の防災力向上も目指しました。子どもを中心に、大人も共に学ぶ場が生まれたことは大きな成果です。

今後は、本実践をパッケージ化し、誰でも実践可能なカリキュラム化していきます。特別な道具や専門的な知識がなくても、どの園でも取り組める防災教育のモデルケースとして普及させ、全国の保育現場における防災教育の質的向上に努めてまいります。

遊びを通じた「子どもまんなか防災」で、乳幼児期からの防災を♡



ご視聴ありがとうございました。